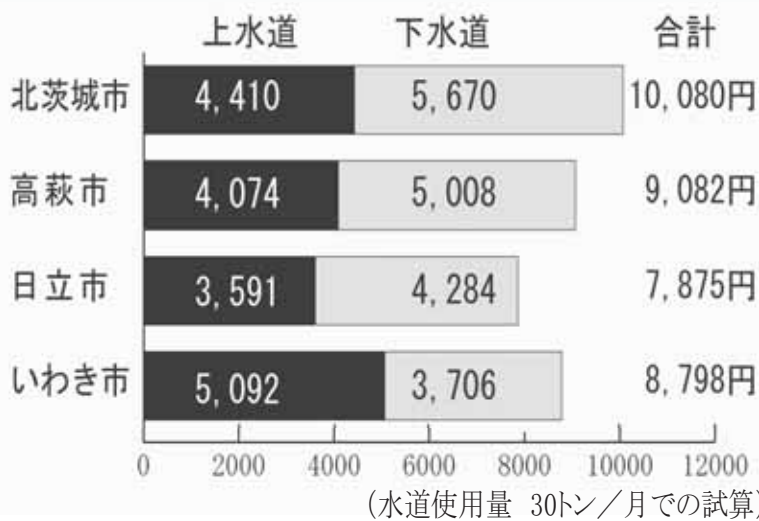


高すぎる下水道の料金

この秋、供用開始予定

市の公共下水道が、今年の秋から一部の地域(関南町神岡、磯原町旧磯原)で供用開始される予定になっています。その使用料金が、昨年12月の市議会に提案されました。これによると、料金は上水道の使用量によって決めら

公共下水道の使用料金の比較



と一部議員が反対しましたが、賛成多数で可決されました。ただし、建設委員会では「今後、使用料金の見直しを含めて検討する」という付帯事項が盛り込まれました。

きたことが危機的状況をつくってきたと考える。ところが今回の請願がよって立つ中教審答申は「愛国心の育成」や「国家への奉仕・献身」をうたい、強者の論理による再編を促すものとなっている。

ベースの加入割合を見直し、他市なみに抑えるべきである」と主張しました。採決では、日本共産党市議団

教育基本法は、あの戦争をおこした教育への反省から制定された。それを変えることは、平和憲法の本質を変えてしまうことにはならない。

動の深刻化、家庭の教育力の低下などを指摘している。しかし、それは基本法の責任ではない。

今なお紛争が絶えない世界で、個人の尊厳、差別のない民主的で平和な社会といった教育基本法が掲げる精神こそが求められている。そうした視点から、この請願には反対する。

まもりたい「教育基本法」 逆行する請願が採択される

さる12月の市議会で、教育基本法の「改正」を求めた内容の請願が審議されました。6月議会から継続となっていた案件ですが、今回は採択。鈴木やす子

市議は、子どもたちの豊かな成長と平和を願う立場から討論にたちました。大要は次のとおりです。

本請願では、国民全体のモラルや青少年の規範意識の低下、問題行

を抑制し、教師を統制して

を抑制し、教師を統制して

を抑制し、教師を統制して



大津港のお正月